

# 地域のパワーが夏に炸裂!!

7/31~8/1 小松町 ふるさと祭り



▲幸せいばいのお二人には祝福の声が…

▲こうして小松音頭が踊り伝えられます

▲祭りのあとの寂しさは

小松地区の夏を彩る恒例行事が盛大に開催されました。うなぎのつかみどり、のど自慢大会などに続くメインイベントの小松音頭踊りでは、子どもたちの書道パフォーマンスが注目を集めました。また、大名行列のお殿様・お姫様役は、結婚を間近に控えたカップルが務め、治道からは大きな祝福が贈られていました。

8/5~7 丹原 七夕 夏まつり



▲三十周年を迎えますますます盛大に開催されました

▲本場の阿波踊りを披露した「吉野連」の皆さん

▲宵闇が迫るとまつりも本番

30回という歴史を重ね、県下でも最大級の七夕イベントに成長。通りに連なる七夕飾りは、日暮れとともに華やかさから幻想的な雰囲気へと姿を変え、地域の皆さんの盆踊りや子どもたちのダンス、そして吉野連による阿波踊りなどがいつまでも続いていました。

# まちのわだい Camera Spot



7/28 おかげん祭 市民花火大会

▲その美しさを伝える言葉を持ちません



時折小雨の降るあいにくの天候となりましたが、約4,500発の色鮮やかな花火が夜空を染めるたびに、集まった多くの観客からは雨雲を吹き飛ばすかのような大きな拍手や歓声が上がっていました。



8/17 市民納涼花火大会



▲咲いては消える花火のはかなさよ



豊臣秀吉の四国進攻で戦死した人々の霊を慰めるため、盆の送り火として打ち上げたのが起源といわれる花火大会。今では季節の風物詩となり、会場を埋めた見物人は行く夏を惜しんでいました。

炎天下で見せた! 光る汗と消防魂



▲猛暑の中、いつもの規律ある動きを披露

7月25日、松山市の愛媛県消防学校で開催された県消防操法大会には、西条市消防団の神拝分団と楠河分団を含む、県下32チームが出場。ポンプ車の部では日ごろの訓練の成果を遺憾なく発揮した神拝分団が準優勝、さらに同分団員の阿部雅義さんが個人表彰と、見事にダブル受賞を果たしました。